Tたのしく　Aあかるく　Oおもしろく　∽　Tたるをしる　Aありがとう　Oおかげさま

ＴＡＯ通信　2004年　春号

編集・発行　波多野毅　2004年５月14日発行　　通刊　第２７号

TEL&FAX 0967(46)3913　URL http://www.weavetango.ne.jp/~tao　E-mail wildoats@bronze.ocn.ne.jp

波多野携帯　090-1978－0516　wildoats@ezweb.ne.jp　〒869-2501　熊本県阿蘇郡小国町宮原908－4

この紙は国内回収新聞古紙100%のリサイクルペーパーです。

Towards	１　独立自由人	Be independent and free.
enjoying	２　知的野生人	Be intellectual yet down-to-earth.
21st century	３　草根世界人	Be international yet act locally.

「いのち」の教育こそ、教育の根幹

波多野　毅

「病室の　真白き中に　ひびきける　音なき音の　点滴のつぶ」

今から15年前、祖母を看病する中、作った短歌です。1987年8月29日、私は愛する祖母を癌で亡くしました。中・高・大と体育会系で健康そのものだった私は、それまで健康や病気のことなど深く考えることもありませんでした。「ま、もし病気になっても薬を飲めばいい。お医者さんに治してもらったらいい」と何の疑いもなく安易にそう思っていました。しかし、祖母の死そしてその後父も癌になったことでものの本を読むようになりました。

情報とは面白いもので、こちらの問題意識の深さ加減で入ってくるものが違ってきます。それまで、マスコミなどで「現代医学、難病を克服！」なんていうものばかりが目についていたのが、「三分間医療」「薬漬け医療」ほか国民医療費の増大、慢性病に対する非有効性、権威主義的な医者と患者の関係など現代医療が様々な問題を抱えていることを知りました。

また、西洋医学の思想的基盤になっている科学の要素還元主義が人間をあたかも部品の集まりのように観てしまう機械論的な医療につながっているというパラダイムの問題も見えてきました。西洋では、自我の確立が大切だとされ、合理的精神で自然を観察し、支配しようとしてきました。しかし、いまや世界的な環境破壊と核の恐怖などの歪みが噴出し、これまでの進み方に反省が出てきているのです。いまこそ、有機的でエコロジカルな世界観が必要なのです。

現代文明は、科学技術の発達と共に、物質的豊かさを提供した一方、過食・美食・運動不足・ストレスの増大をもたらしました。詩人ゲーテに「人間は、自然から遠ざかれば遠ざかる程、病気に近づく」という言葉がありますが、人間は、自然との共存の中でしか生きられないし、自己の内なる自然の声が、すっと聴こえる「自然体」の自分でなければ、心身のバランスコントロールができないのです。

TAO塾の卒業生達にも、現在、医者の卵・松原崇一朗君（大分大学医学部）、薬剤師の卵・大塚英起君（熊本大学薬学部）、看護婦の卵・斎藤あゆみさん（日本赤十字広島看護大学）、理学療法士の卵・穴井寛和君（九州ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ大学校）と医療関係に進んでいる人達がいます。彼らには是非専門知識の習得とともに「医」の根源たる「いのち」を育む「食」と「農」への洞察も深めて欲しく思います。

今月5月末に、TAO農場で田植えをします。熊本、福岡、遠くは海外からも無農薬オーガニック農業を志す人が集まります。子供たちと一緒に土に触れる中で「いのちの根っこづくり」ができればと思っています。

私が健康関係の月刊誌に連載していたインタビュー記事が、出版社のお声かけで、このたびインタビュー集という形で本になりました。小国町・アオヤギ書店、熊本市内の紀伊国屋書店・まるぶん書店・長崎書店・熊本阪神リブロ書店ほか全国書店で販売されています。どうぞ機会がありましたら、目を通していただけると嬉しいです。私に直接、電話、ファックス、メールを頂いても結構です。

書　評

◎　TAO 農場日誌

TAO 塾スタッフ　藤江雄俊

３月某日――温床づくりと種まき
家の庭先に温床なるものをこしらえてみる。稲ワラや落ち葉の発酵熱をつかった高度な技術。もちろん失敗。温度が思うように持続しない。春、気候が暖かくなってから芽吹くのが自然なことだ！と開き直る。それでもｷｬﾍﾞﾂ、ﾌﾞﾛｯｺﾘｰ、ﾅｽ、ﾄﾏﾄ、ﾋﾟｰﾏﾝなどのツワモノ達がいくつか芽吹いてくれる。３月の寒さに打ち勝てたものが残る。これが自然淘汰だ！と自然の摂理を垣間見る。農ｽﾅﾜﾁ哲学ﾆ通ズ・・・？

３月某日――EM 肥料づくり
満願寺に住む今村さんのご指導の下、EM 肥料づくりに挑戦。まずはﾎﾞｶｼ肥。米ぬか、魚粉、油かすと EM 菌、糖蜜などを混ぜ合わせ、密封容器に封入。空気を入れない嫌気性発酵がポイント、とのこと。完成まで二月ほど待つ。次に青草液肥。畑の周囲に芽吹きはじめた春草、竹笹・杉・檜の葉などを集める。細かく切って EM 菌、糖蜜、塩などと漬け込む。毎日少しずつかきまぜて 10 日程で完成。

４月某日――畑にて
気候が和らいでくるとともに畑の周囲もにわかに活気づいてくる。ﾅｽﾞﾅ、ﾚﾝｹﾞ、ｽﾐﾚなど野の花が春風にやさしく揺れている。じゃがいも、里いもの植え付け。大根、小松菜などの種まき。芽吹きを待つ。畑の周囲ではﾌｷ、ﾂｸｼ、ﾜﾗﾋﾞ、ﾐﾂﾊﾞなどがお目見え。春の味覚をいただく。剪定した梅、植えかえた柿やカリン、春の陽を受けて新葉が光る。つがってくれてよかったと一安心。来月には田植えがはじまる。

TAO 農場来訪者録より
ｼﾞﾙ･ｼﾞｮｰﾀﾞﾝさん(豪州・心理学者)ﾃﾞｼﾞｬｰﾃﾞﾝ由香理さん(豪州・ﾊﾟｰﾏｶﾙﾁｬﾘｽﾄ)内藤幹さん(元船井総研主任研究員)ﾏｲｸ&ﾛｰﾅ・ﾊﾞﾄﾗｰ(英国・ﾍﾞｼﾞﾀﾘｱﾝ協会)有安峰子さん(ｴｺﾛｼﾞｽﾄ)越知純さん(ﾚｲﾝﾎﾞｰ 2000)大谷ゆみこさん(穀菜食研究家)町谷一成さん(意匠職人)石松りえさん(ｶﾌｪ桃の木)・・・・ほか

◎「オーストラリアからジル・ジョーダン女史 TAO に来る！」

地域通貨・ｺﾐｭﾆﾃｨﾊﾞﾝｸ・ｴｺﾋﾞﾚｯｼﾞといった「互助的なｺﾐｭﾆﾃｨ」の活発な動きで世界的に脚光を浴び、世界中のｴｺﾛｼﾞｽﾄ達の憧れの街となっているｵｰｽﾄﾗﾘｱのﾏﾚｰﾆから「ﾏﾚｰﾆの母」と呼ばれている心理学者のジル・ジョーダン氏が来日。熊大医学部での講演前日に、TAO にｽﾃｲ。阿蘇の中岳噴火口、黒川温泉の露天風呂、阿蘇の伝統料理などを満喫してもらった後は TAO 塾の生徒達と楽しい交流。ジルにはお習字にも初挑戦してもらう。塾生は各自のタレントを生かした少林武術・柔道・剣道・剣玉・折り紙などのパフォーマンス。翌日は、TAO 農場にて 2 人に柿や花梨の苗を植樹してもらった。由香理さんのご縁でフォークシンガーの南こうせつさん宅にも訪問。奥さんの素敵なオーガニックガーデンを散策。採りたての新鮮野菜が実に美味しい。こうせつさんの温かい歌詞とピュアな音色の源を発見！

1

2

3

1.TAO 塾生と交流するｼﾞﾙ･ｼﾞｮｰﾀﾞﾝ
少林武術の素晴らしさに感動！

2.洋子先生の指導でお習字に初挑戦するｼﾞﾙと通訳の由香理さん

3.TAO 農場で柿とカリンを植樹。次回来日するときの成長ぶりが楽しみ

TAO農場田植祭(5月29日)

参加者大募集！

新緑の中、気持ちいい汗かきませんか？

5 月 29 日　スケジュール概略

9:30am　TAO 塾集合（産交バス１F）
10～12pm　田植え
12～3pm　昼食＆交流会
3pm～　温泉へＧＯ！

参加費　無料（昼食付）
申込期限　5 月 23 日まで
持参品　作業着・ﾀｵﾙ･帽子
申込先（TEL&FAX 0967-46-3913）
Email wildoats@bronze.ocn.ne.jp

※宿泊希望者はご連絡下さい。

6 月 21 日夏至の日には、ＴＡＯ農場そばの南小国町押戸石山にて WORLD PEACE&PRAYER DAY のイベントがあります。世界平和と環境保護を求め、全てのいのちに感謝の祈りを捧げるための集いです。ＴＡＯ農場でもインディアンテント・ティピを建てる予定です。興味ある方は越智さんまで（090-7386-5133）